



協会報

2019

発行日 毎月1日 通算発行 402号

10



今月のトピックス

令和元年度 北陸建設業協会会長会議の開催

最近の完成工事から

山中温泉の賑わい創出と街路整備について

(都)温泉中央南線 山中温泉ゆげ街道の完成

石川県南加賀土木総合事務所



石川の工芸シリーズ

石川県立美術館蔵

あじろじゅうばこ ぎょうてん
網代重箱「暁天」

こもりくにえ
小森 邦衛【昭和20(1945)年 - 】重要無形文化財保持者(髹漆)

制作年 / 平成4(1992)年 サイズ / 幅26.7×奥行29.1×高さ19.7cm 技法 / 髹漆
本作品は、夜が明けようとしている情景を朱と黒の漆で描いたもの。竹を割いて編んだ網代の柔らかな凹凸と漆のグラデーションによって、光が徐々に移り変わっていく空の様子を表現している。素地の網目を漆の塗りで完全に覆うことなく、一つの意匠として取り込んでおり、加飾を最小限に抑えて素地を表現の一部とする、小森邦衛の作風が感じられる一品である。

“未来”を創り “ふる里”を守る 建設産業

発行所 一般社団法人

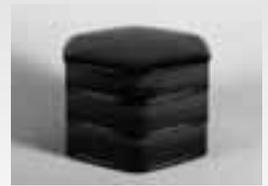
石川県建設業協会

〒921-8036 金沢市弥生2丁目1番23号
TEL(076)242-116(代) FAX(076)241-9258

URL:<http://www.ishikenkyo.or.jp/>

CONTENTS

2019
10



石川の工芸シリーズ
あじろじゆばこ ぎよつてん
網代重箱「暁天」
小森 邦衛(こもりくにえ)

1	今月のトピックス	
	令和元年度 北陸建設業協会会長会議の開催	1
2	最近の完成工事から	
	山中温泉の賑わい創出と街路整備について (都)温泉中央南線 山中温泉ゆげ街道の完成	
	石川県南加賀土木総合事務所	2
3	平成30年度 土木部優良建設工事 知事表彰の紹介 vol.9	
	株式会社ピーエス三菱	4
4	石川県農林水産部だより	
	豚コレラ対策(経口ワクチン)について	
	石川県農林水産部農業基盤課	6
5	雇用改善コーナー	
	工業系高校生(石川県立小松工業高等学校)現場見学感想文	7
6	地区協会コーナー	
	「住みよさランキング2019」白山市が全国第1位に輝く	
	(一社)白山野々市建設業協会	9
7	会員リレーコーナー	
	190 株式会社山崎建設	10
8	今月の「輝き!」さん No.55	
	株式会社 高田組 小林弘樹 ^{ひろき} さん	11
9	おすすめ県政出前講座 vol.5	
	北陸新幹線時代の石川の観光 石川県観光戦略推進部観光企画課	12
10	協会だより	
	台風被害の千葉県へ災害支援を実施	13
	金沢城鼠多門寄進事業への協賛	13
	委員会の開催	14
	土木委員会	
	役員会の開催	14
	安全対策部会 正副部会長会議の開催	15
	総務部会・懇話会合同会議の開催	15
	土地改良委員会	
	県農林水産部への要望事項提出	16
	県央農林安全対策協議会現場安全パトロール並びに研修会の開催	16
	広報・研修委員会	
	委員会・講演会の開催	17
	建設青年委員会	
	金沢河川国道事務所との意見交換会の開催	17
	暴力団等対策特別委員会	
	委員会の開催	18
11	石川県土木施工管理技士会だより	
	JCM特別セミナーの開催	18
12	業界時報	
	令和元年度「建設業取引適正化推進月間」実施要領	19
	労働災害発生状況	20
	令和元年度 建設工事受注高調(元請)	20
13	会員消息	21
14	県協会からのお知らせ	21
15	地区協会からのお知らせ	22
16	関係機関からのお知らせ	23

◆ 今月のトピックス ◆

令和元年度 北陸建設業協会会長会議の開催

本年10月23日(水) 富山県で開催される北陸建設業協会地域懇談会の運営並びに提案議題等の打ち合わせを目的とした石川、富山、新潟の3県協会長会議が、9月30日(月) ANAクラウンプラザホテル富山で開催された。

会議には、(一社)石川県建設業協会から小倉 淳会長以下14名、(一社)富山県建設業協会から竹内茂会長以下9名、(一社)新潟県建設業協会から植木義明会長以下4名の役員及び事務局職員が参加した。

会議は、冒頭、竹内富山県協会長の挨拶で始まり、議長に竹内会長を選出し下記のとおり議題審議が行われた。



・令和元年度地域懇談会の運営及び提案議題等について

地域懇談会開催要領及び地域懇談会における国土交通省及び全建からの提案議題について開催県である富山県協会の牧田 潔専務理事より説明がなされ、その後、北陸地域からの提案議題については、富山県協会牧田専務理事、石川県協会山岸専務理事、新潟県協会長谷川専務理事からそれぞれ説明がなされ了承された。

続いて意見交換では、キャリアアップシステム、外国人労働者の雇用等について活発な意見交換が行われた。

不慮の災害事故発生にそなえて

全建協連総合補償制度 自動車保険

お問い合わせは・・・



石川県総合建設業協同組合

損害保険ジャパン日本興亜株式会社
損保ジャパン日本興亜保険サービス株式会社

TEL 076 - 231 - 7787

FAX 076 - 231 - 7766

〒920 - 0919 金沢市南町5 - 20
中屋三井ビル2F

最近の完成工事から

山中温泉の賑わい創出と街路整備について (都)温泉中央南線 山中温泉ゆげ街道の完成

石川県南加賀土木総合事務所

1 はじめに

都市計画道路温泉中央南線（通称「ゆげ街道」）は、松尾芭蕉をはじめ多くの文人が訪れた温泉地としても知られる山中温泉のメインストリートであるとともに、こおろぎ橋～鶴仙溪～あやとり橋～総湯を結ぶ観光回遊ルートとして重要な道路です。

しかしながら、幅員が狭く歩道が未整備であり、歩行者や自転車が安心して通行できない状況であったことから、温泉街の賑わい創出と回遊性の向上を目的に、平成9年から、県と地元が一体となって、道路拡幅と無電柱化を中心とした街並み整備を進めてきました。

平成15年に南町工区、平成25年に湯の出町工区が完成し、さらに平成26年からは、こおろぎ町工区で事業に着手し、本年8月に事業開始から4半世紀をかけ、ようやく整備が完了しました。



図 - 1 ゆげ街道全体図

2 事業概要

路線名：都市計画道路 温泉中央南線

事業箇所：加賀市山中温泉湯の出町
～こおろぎ町地内

事業期間：平成9年～令和元年

延長：L=637m

南町 L=342m

湯の出町 L=155m

こおろぎ町 L=140m

幅員：W=13m（6.5mから拡幅）

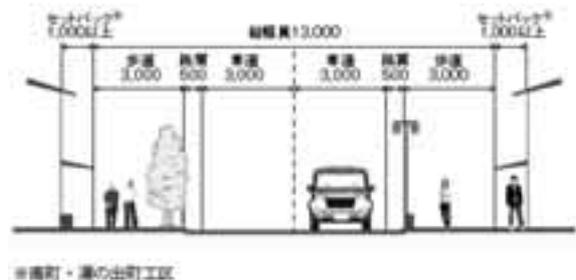


図 - 2 標準断面図

3 まちづくり

地元では、住民主体の協議会を立ち上げ、建築物などの景観整備に関するルールを取り決め、山中らしい沿道景観の整備を行うとともに、商店街では、1店舗2業種といった観光客向けの販売を行うなど、温泉街の賑わい創出に向けた様々な取り組みを行っています。

また、県では、道路拡幅と無電柱化に合わせ、温泉街がもっとも賑わった、大正から昭和初期にかけての「土のみち」をイメージした車道舗装や季節を彩る街路樹の植栽など、温泉街にふさわしい道路修景整備を行いました。

県と地元が一体となった取り組みの結果、山中温泉の歴史と文化が感じられる温泉情緒豊かな通りへと生まれ変わり、温泉客の皆さんがそぞろ歩きを楽しまれ、浴衣で街を歩く姿が山中温泉ならではの情景になるなど、商店街も大変賑わっています。



写真 - 1 整備前の状況（こおろぎ町）



写真 - 2 整備後の状況（こおろぎ町）

4 完成を祝う会

令和元年9月16日(月・祝)には、南町、湯の出町、こおろぎ町の3協議会で構成された、完成を祝う会実行委員会の主催による「都市計画道路 温泉中央南線 山中温泉ゆげ街道の完成を祝う会」が、知事、加賀市長など多数の関係者列席のもと、執り行われました。

祝う会では、くす玉開披や山中和太鼓倶楽部にじっ子によるアトラクションが行われ、式典後には、知事をはじめ、来賓の方が完成した「山中温泉ゆげ街道」を散策するなど、多くの人が集まり賑わいをみせました。



写真 - 3 くす玉開披



写真 - 4 山中和太鼓倶楽部にじっ子



写真 - 5 ゆげ街道の散策状況

5 さいごに

今後とも、今回完成した「山中温泉ゆげ街道」を基盤として、地元の皆様が思いを一つにした活気溢れるまちづくりを進められ、山中温泉にさらなる賑わいが創出されることを心から期待します。



A1～P1径間架設桁架設工法
(架設門型クレーンの大型化)



P1～A2径間トラッククレーン併用架設工法

PCケーブル施工

主桁転倒防止



主桁内側



自動水温調整器



PCによるグラウト
練上がり温度の管理



主桁外側



床版間

コンクリート養生



桁下保温養生



施工箇所に屋根を取付



桁上保水養生



PCによるコンクリート
養生温度の管理

■現場代理人のコメント



現場代理人
新田哲郎氏

この度は、平成30年度 土木部優良建設工事 知事表彰を賜り誠に有りがとうございます。これもひとえに、関係各位の皆様のご指導とご協力によるものと深く感謝すると共に厚くお礼申し上げます。

本工事は、旧小間生橋の幅員が狭く、橋のたもとで直角に曲がっているなど、観光バスなどの大型車両の通行に支障が生じていました。これらを解消するための橋梁架替え工事です。幅員が13.250m～31.200mと変化するため、A1～P1径間を架設桁架設工法、P1～A2径間をトラッククレーン併用架設工法とし、A2側施工ヤードが狭いためP1～A2径間の主桁架設作業は、県道を通り止めにし、夜間作業（22：00～5：00）で行いました。

P1～A2径間架設作業が12月に終了し、2径間目橋体、橋面工事を1～3月に行うため、特にこの地区は積雪量が多く、気温が低いので、施工場所には屋根を設け、グラウト・コンクリートの養生には、湿潤・保温養生を行い品質向上に努めました。また、本社・支店と現場が一体となった施工検討会の開催や安全パトロールを実施しながら発注者はもとより関係官庁など、工事関係者の連携を図り周辺住民の皆様からのご理解とご協力をいただき、無事故・無災害にて完成させる事が出来ましたことは、皆様のご指導に感謝いたすところであります。

今回の受賞を励みに、これからもさらなる技術の向上に努力していきたいと思っております。

石川県農林水産部だより

豚コレラ対策（経口ワクチン）について

石川県農林水産部農業基盤課

1 はじめに

豚コレラは、昨年9月に国内で26年ぶりに岐阜県の養豚農場で発生し、その後感染が拡大しています。

石川県では、養豚農場での豚コレラの発生を防止するため養豚農家への立ち入り検査を強化、ウイルスを媒介しているとみられる野生イノシシの侵入防止柵の設置や捕獲調査、経口ワクチンの散布を前倒して実施してきました。今回は野生イノシシに対する経口ワクチンの散布についてご紹介します。

2 豚コレラとは

豚コレラとは、ウイルスにより起こる豚、イノシシの熱性伝染病で、強い伝染力と高い致死率が特徴であり、40℃以上の発熱、元気消失、食欲不振、便秘に続く下痢など多様な症状を示し、感染した豚の多くは3週間以内に死亡します。

感染豚の唾液、涙、糞尿中にウイルスが存在し、感染豚や汚染物品等との接触により感染が拡大し、治療法が無く、家畜伝染病予防法の中で特定家畜伝染病に指定されています。人には感染せず、感染した豚肉が市場に出回ることはありませんが、仮に豚コレラにかかった豚やイノシシの肉を食べても人体に影響はありません。

3 経口ワクチンの散布について

県内の養豚農家が所在するかほく市以北への豚コレラウイルスの感染拡大防止対策として、国から配布された経口ワクチンにより抗体を持った野生イノシシによる防疫帯を構築することを目的に、8月7日から津幡町とかほく市の山間部において、関係市町、猟友会、森林組合などの協力により実施しました。

まずイノシシをおびき寄せるため、候補地63箇所でも米ぬかなどの餌を10日程度まき、餌の食いつきがよい50箇所を選定し、小動物が食べないように深さ10センチほどの穴を掘り、トウモロコシ粉で覆われたワクチン1千個を埋設（1穴につき2個ずつ）しました。

埋設されたワクチンは5日ほどで効果がなくなるため、イノシシの摂食状況を確認したのち、残ったワクチンは全て回収しました。

これを夏期と冬期に各2回（計4回）実施することとしています。

その後、国から約5千個の経口ワクチンの追加配分を受けて、散布範囲を七尾、羽咋、志賀、中能登、宝達志水の5市町に拡大し、初回の散布分と合わせて富山県境沿いに抗体を持ったイノシシによる防疫帯を形成し、野生イノシシを介した豚コレラウイルスの感染拡大防止対策を強化しました。



経口ワクチン

写真:©Federal Ministry of Food and Agriculture, Germany

4 おわりに

石川県では、8月20日に捕獲された野生イノシシでの豚コレラの初感染が確認されましたが、豚コレラ対策は関係者の理解と協力によりスピード感を持って、できる限りの対策を実行する必要があります。

当県と石川県建設業協会は緊急時の対策に関する協定を締結しており、会員の皆様におかれましては、今回の紹介を通じて豚コレラに対する正しい知識と本県の対策について、ご理解とご協力をお願いします。

(9月19日)

雇用改善コーナー

工業系高校生（石川県立小松工業高等学校）現場見学感想文

『人々が協力して造り上げるものは素晴らしい。』

建設科 1年 山口創太

今日の現場見学で一番心に残ったのは、小松大学末広キャンパスの現場です。この現場には、沢山の職人さんが携わっていると感じました。私の親が大工であることもあり、家を造る手伝いにも何度か行ったことがあります。しかし、工事現場の規模が違うこともあり、ものすごく多くの職人さんが作業をしていて凄いと感じました。天井裏を見た時に感じたことは、配線が多くその束がとても太く作業が大変だと思いました。また、天井や壁の石膏ボードがとてもきれいに張られていて、職人さんの丁寧な仕事にも感心しました。私もこんな風にきれいに早く作業が出来るようになりたいと思いました。

小松大学の現場を見学して、人と人が協力して造り上げるものはとても素晴らしいものだと思います。金沢東部環状道路月浦トンネルの工事現場で感じたことは、とても大きくて迫力があって凄いという事です。水が天井から垂れたり湧いたりしているため、作業に支障をきたさないように排水ポンプが設置されていました。説明で、1メートル掘り進めるのに4時間かかると聞いてとても早いと思いました。最近の技術はとても進歩していると思いました。工事は24時間行われていて大変な仕事だと思いましたが、反面カッコいい仕事だとも思いました。

北陸新幹線小松駅高架橋の現場では、とても高いところで作業をしていて大変苦労があるのではないかと思います。しかし、完成した時の達成感がとてもある仕事だと思えました。今回の見学で感じたことを今後の高校生活に活かしていきたいと思いました。

『JV現場のコミュニケーションの重要性が分かりました。』

建設科 1年 米山陽菜乃

今日の現場見学で共通点を見つけました。「JV」といっていくつかの建設業者が集まり、共同企業体で工事を請け負っているというところです。企業間の関わりも大事ですが、一人ひとりのコミュニケーションがとても重要になってくることが分かりました。

北陸新幹線小松駅高架橋工事の現場では、出来上がったところに登って小松の景色を見渡すことができました。将来、北陸新幹線が通るところを自分の目で見る事ができて良かったです。この現場では、基礎をしっかりと造ることが大事だと感じました。

小松大学末広キャンパスの現場では、いろいろな業種の人が集まって初めて工事が成り立つことを実感しました。工事現場の床や天井、壁などにいろいろな文字や張り紙があり、その理由は、誰でも分かりやすく安全に作業が出来るためだということが理解できました。この見学で、「共通理解」、「安全」ということの大切さを知ることができました。

金沢東部環状道路月浦トンネルの工事現場は、規模も機械の大きさも他の現場とは大きく違うと感じました。実際に掘削している状況を見学することができ、とても良い経験になりました。この現場で一番印象に残っていることは、建設機械の大きさです。ブルドーザー、土砂運搬車、ドリルジャンボがとてつもない大きさでした。初めて見る機械ばかりで、工事の内容や規模によって必要となる建設機械も異なることが分かりました。もう一つ驚いたことは、常に水を抜いてから掘削の作業を行っていたことで



す。水がある状態だと崩れた時に崩壊が止まらないという理由でした。いろいろな経験から課題を見つけ出して解決していくことが重要だと感じました。

『トンネル工事の難しさが分かりました。』

建設科 1年 関戸友哉

北陸新幹線小松駅高架橋の工事現場で驚くことがありました。まず、建設費が1メートルくらいの幅で600万円、約2.6キロで130億円という私たちが一生働いても手に入れることの出来ない費用がかかっていることです。失敗は出来ないし質の良いものを作らないといけないと感じました。この工事には、現場監督を含め約250人が働いているということが分かりました。地面を掘削してそこに鉄筋を組み立て型枠を組み、コンクリートを打設することで一つの橋脚が完成し、この工程を繰り返していることが分かりました。

小松大学の新築工事と改修工事の現場を見学しました。作業をしている人が大きい声を出してほかの作業員とコミュニケーションをとっていたり、足場に安全帯着用を呼びかける看板がありましたがとても大事なことだと思いました。

金沢東部環状道路月浦トンネルの工事現場では、トンネル工事専用のロックボルトという崩壊を防ぐためのものを打ち込んだり、バックホーを使って掘削をしたり、昼夜問わず24時間交代制で工事を行っているという面白く感じました。掘削で出た土は、北陸新幹線工事の現場で使われていることを聞いて、他の現場との連携がとても大切で勝手にどこにでも捨ててはいけなかったと感じました。トンネル工事は断層を避けたり、どのルートが経済的なのかということ意識したりしないといけないと聞いて個人的にトンネル工事が一番大変で難しそうだと感じました。また、今あるものをどう使い修復するかが今の課題と聞いて、この課題を頭に入れながら今後の建築・土木の勉強に取り組んでいきたいです。



『新幹線工事の規模の大きさに驚きました。』

建設科 1年 長戸さくら

普段、何気なく通っていた北陸新幹線小松駅高架橋工事の現場がこんなにも大変で規模が大きいものだとは思っていませんでした。一つの橋脚に億単位の費用が掛かることや、教室3~4個分のコンクリートできていることにも驚きました。新幹線の走る高架橋の上に登れたことはとても貴重な体験だったので嬉しかったです。

小松大学末広キャンパスでも、ムラなく丁寧に塗装する職人さんや隙間なく壁紙を貼っていく職人さんを見て、完璧な仕事しか求められてないと感じました。一つの物を完成させるため、職人同士のコミュニケーションとお互いに感謝の気持ちを持つことが大切だと感じました。

金沢東部環状道路月浦トンネルの工事現場で学んだことは、トンネルを掘る時に水があると土砂崩れのような危険があるため、最初に水を抜くこと、また、掘った後に吹き付けコンクリートを外周に施して崩れを防ぐこと、円形にすることで上からの圧力に耐えやすい構造にすることなど、様々な工夫がされていることが分かりました。また、トンネル工事で出た土は、北陸新幹線の工事現場等に運ばれているということを知り、QCで勉強した3ムが全てできていると感じました。週休2日でムリなく、全て均一でムラなく、土が余らないためムダも少ないということで全て理想が叶っていると感じました。トンネル工事に携わっている人は約50人、工事費は約50億円ということですが、一人に約1億円分の責任があると考えると少し不安に感じました。責任を持って仕事をできる人材になれるように日頃の態度を改めようと思いました。



地区協会コーナー

「住みよさランキング2019」 白山市が全国第1位に輝く

(一社)白山野々市建設業協会

白山市は、平成17年2月に1市2町5村が合併して誕生し、県内の自治体で最大の面積を有し、人口は金沢市に次いで2番目に多い市となりました。市全域が手取川の流域で、日本三名山の白山を有する市南部は山岳地域です。白山市域は、日本海から白山にかけての狭い範囲で水循環(水の旅)が生み出されていることから、市全域が「山・川・海そして雪いのちを育む水の旅」をテーマとする白山手取川ジオパークとして認定されています。

今年6月に、東洋経済新報社が発表した「全国住みよさランキング2019」において、全国812都市(東京特別区含む)の中で、白山市が初めて全国一位に選ばれました。

選定方法は、【安心度】、【利便性】、【快適度】、【富裕度】の4項目で、各項目の指標は以下の22データとなっています。

【安心度】 ①1000人当たり病院・一般診療所病床数(床)

- ②老年人口1000人当たり介護老人福祉・保健施設定員数
- ③20～39歳女性人口1人当たり0～4歳児数
- ④子供医療費助成(対象年齢・所得制限の有無)
- ⑤1000人当たり刑法犯認知件数
- ⑥1万人当たり交通事故件数

【利便性】 ⑦1人当たり小売販売額

- ⑧1人当たり大規模小売店店舗面積
- ⑨可住地面積1km²当たり飲食料品小売事業所数
- ⑩1000人当たり飲食店数

【快適度】 ⑪転出入人口比率

- ⑫1人当たり財政歳出額
- ⑬水道料金の安さ
- ⑭汚水処理人口普及率
- ⑮都市計画区域人口当たり都市公園面積
- ⑯気候(月平均最高・最低気温、日照時間)

【富裕度】 ⑰財政力指数

- ⑱1事業所当たり売上高
- ⑲納税義務者1人当たり所得
- ⑳1住宅当たり延べ床面積
- ㉑持家世帯比率
- ㉒住宅地平均地価

住みよさランキング2019
総合評価トップ20

1	白山市(石川)	54.231
2	文京区(東京)	54.099
3	野々市市(石川)	54.052
4	福井市(福井)	54.039
5	倉吉市(鳥取)	53.873
6	敦賀市(福井)	53.756
7	黒部市(富山)	53.734
8	能美市(石川)	53.73
9	魚津市(富山)	53.687
10	駒ヶ根市(長野)	53.652
11	四万十市(高知)	53.625
12	郡上市(岐阜)	53.462
13	かほく市(石川)	53.332
14	印西市(千葉)	53.224
15	七尾市(石川)	53.153
16	小松市(石川)	53.144
17	北杜市(山梨)	53.14
18	渋谷区(東京)	53.129
19	合志市(熊本)	53.096
20	金沢市(石川)	53.077

上記で、白山市が高い評価を得た項目は、④子供医療費助成(1位) ⑪転出入人口比率(19位) ⑬水道料金(37位) ⑭汚水処理人口普及率、⑲持家世帯比率、⑤1000人当たり刑法犯認知件数、が上位にランク付けされ、総合で1位となりました。

この指標は、昨年度までと異なり、新たに上記の④、⑤、⑥、⑬、⑱などの指標が加わり、北陸地方の市が多くランクインした傾向がありました。

白山市では、全ての市民の頑張り、オール白山として評価されたもので、今後も、白山市に住みたい、住んで良かったと思えるまちづくりに取り組んでまいりたいとのことです。

なお、石川県内の市では、野々市市が3位、能美市8位、かほく市13位、七尾市15位、小松市16位、金沢市20位と20位内に7市がランクインしました。

会員リレーコーナー

190 株式会社山崎建設
(所在地：石川県七尾市小島町大開地3-4)



社屋

弊社は、昭和34年に創業し現在で営業年数60年になりました。創業当初は、私の祖父が石屋として起業し私で3代目になります。

主な営業内容は公共土木工事・公共管工事で、民間では建築工事の基礎工事も行っています。最近では、鉄道工事にも力を入れています。内容は、線路際の施工基面の整備を自社で施工したり元請受注者の保安関係で線路に立って安全管理をしています。徐々に従事者の数も増えて、現在鉄道関係の資格者で10名になりました。

今後の課題は、作業員の確保です。その為に、働きたい会社又は家族が働かせたい会社を築くために試行錯誤しています。具体的には、人事制度を構成して作業員が明確な評価制度のもとやりがいのある職場にしたいと考えます。

又、作業員の家族に対する福利厚生を充実して家族が送り出しやすい会社にしたいと考えます。

今後発展していく i-Construction にも目を向けて、益々発展していく流れに乗れるように励んでいます。

今回は株式会社山田組 代表取締役 山田 希さんにバトンをお渡ししますので、よろしくお願ひします。

(株式会社山崎建設 代表取締役 山崎美智夫)

社訓

『お陰様』

会社、従業員は共に今あるのは 人の助けによってであり
感謝の心をもって 日々 努力 精進する

株式会社 山崎建設

歩行者事故防止運動

実施日 10月21日(月)～10月30日(水)



今月の「輝き！」さん
No. 55



株式会社 高田組 ひろき 小林弘樹さん

業 種：工務部土木課
経験年数：5年6ヶ月
年 齢：26歳

金沢市赤土町の現場事務所に今月の輝きさん 小林弘樹さんを訪ねました。

- この現場はどのような工事をされているのですか？
この現場は、豪雨等による河川の氾濫による浸水被害を防止するために、石川県が進めている二級河川犀川広域河川改修工事の一部で、護岸を整備する工事を行っています。

- あなたの会社について教えてください。
私が勤務する株式会社高田組は、金沢市長田2丁目に本拠を置く高田産業グループ5社の一つで、昭和34年設立の土木・建築工事の設計施工を行う社員数35名の会社です。私は、工務部土木課に所属し、工務主任として現場管理を担当しています。グループでは、生コンクリート・アスファルト合材の製造販売、舗装工事施工、ホテル業、旅行業などを行っております。

- あなたの経歴と会社への入社動機について教えてください。
私は、河北郡津幡町出身で両親と妹の4人家族です。子供のころから粘土やブロック等を使った遊びが好きで、自分が想像したものを形にすることに「ワクワク

感」を感じていました。「ものづくり」に対する興味は中学校になっても変わらず、将来、地図に残るような構造物を造りたいとの思いで、土木工学の専門知識を学ぶために石川工業高等専門学校環境都市工学科に入学しました。

卒業後の進路については、県内企業への就職を考えていたので、就活担当の先生のアドバイスもいただきながら、学んだ土木の知識を十分に活かせる高田組に決めました。私の祖母が弊社の近くに住んでいたこともあり、会社のことをよく知っていたので、これも何かのご縁だと思っています。

- これまでに苦労した現場はありますか？
金沢外環状道路海側幹線の関連工事で、市道の横断函渠築造工事を担当しましたが、この年は豪雪で、私も作業員も出勤すらできない日もあるなど、施工管理に大変苦労しました。土木の仕事は天候に左右されるということを改めて痛感させられた現場でした。

- 休日の過ごし方、趣味について教えてください。
小学校では卓球、中学校ではバスケットボールをしていました。高専に入ってから軽音楽クラブに籍を置きました。音楽が好きで「K.able」という活動名で作曲をし、ユーチューブにアップもしています。また、友人5人でバンドを結成しており、私はギターを担当しています。先日も、友人の結婚式で演奏をしたのですが、大変好評でした。カスタムカーにも興味があります。休日には、楽曲を作ったりカスタムカーの展示会を見に行ったり、自分の好きなことをしてリフレッシュしています。

- 将来の夢、目標は？
とりあえずの目標は、1級土木施工管理技士の試験に合格することです。仕事に必要な資格をひとつでも多く取得して自分のスキルを高め、地域等により貢献できればと思っています。そして将来は、部下を上手に指導でき誰からも尊敬されるような現場監督になりたいと思っています。



けんせつ一番星

「-Sunset Express-MOVE」毎月第4火曜日 18:00~18:05

エフエム石川で毎回、建設業界で働く業界のホープ「けんせつ一番星」の方にインタビューし建設業界の魅力や仕事への意気込みなどに迫ります。

是非お聞きください。

おすすめ
vol.5
県政出前講座

今月のテーマ

北陸新幹線時代の石川の観光

石川県観光戦略推進部観光企画課

「北陸新幹線時代の石川の観光」では、北陸新幹線が観光面にもたらした効果のほか、観光産業が担う大きな役割などについて紹介します。観光産業は、裾野が広い産業ですので、多くの方にご利用いただければ幸いです。

北陸新幹線が観光面にもたらした効果

北陸新幹線が開業して以降、本県の観光がどのように変わったかについて、観光入込客数や外国人宿泊者数などを例に挙げて紹介します。



ひやくまんさん

ほっと石川観光プラン2016

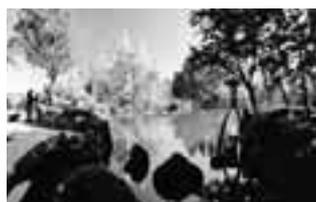
石川県の観光をさらに飛躍・発展させるための基本戦略や今後の目標について説明します。

石川の観光施策の取り組み

観光産業が担う大きな役割や、石川県が現在行っている観光施策について説明します。



千枚田



兼六園



白山白川郷ホワイトロード



那谷寺

県政出前講座について

【テーマは何種類？誰が説明？】

県政出前講座では、上記で紹介したテーマの他、約140件のテーマからお好きなテーマを選ぶことができます。説明は各テーマ担当課職員（県庁職員）が説明します。

【費用と所要時間は？】

職員の派遣に関する費用（旅費・軽微な資料代など）は、不要ですが、会場は申込団体でご用意ください。講座の所要時間は1時間から1時間30分程度です。

【受講する人員は？】

おおむね10人以上から受講できます。

【申し込み方法は？】

石川県ホームページから（<http://www.pref.ishikawa.lg.jp/kenmin/demae/>）詳しい申し込み方法をご覧ください。「石川県 出前講座」で検索してもすぐ見つかります。

パンフレットをお求めの方は、石川県広報広聴室までお問い合わせください。

（石川県広報広聴室 電話：076-225-1362 メール：e130500b@pref.ishikawa.lg.jp）

協会だより

台風被害の千葉県へ災害支援を実施

(一社)石川県建設業協会(会長 小倉 淳)は、9月15日(日)、台風15号で大きな被害を受けた千葉県に対し、災害対策用資材の支援を行った。

災害支援は、「災害時における北陸地方整備局所管施設の災害応急対策業務に関する協定書」に基づき、国土交通省北陸地方整備局からの要請に基づき実施したもので、会員企業から提供されたブルーシート、トラロープをトラック2台に積載し、同日午後0時30分、吉光成寛(株)吉光組副社長、山崎隆雄(株)丸西組工事係長及び事務局員2名が2台のトラックに分乗し、石川県建設総合センターを出発した。

連休中で高速道路等の渋滞などもあったが、午後10時、指定された千葉県船橋市の関東地方整備局関東技術事務所船橋防災センターに無事到着した。

週末の連休中という厳しい状況の中での要請であったが、協会加盟各社の協力と迅速な対応により支援物資を被災地に届けることができ、建設業協会の使命を果たすことができた。

本支援にご協力いただいた会員企業の皆様に改めて感謝を申し上げます。



石川県建設総合センター出発



船橋防災センターに搬入された資材

金沢城鼠多門寄進事業への協賛

(一社)石川県建設業協会、各地区建設業協会(組合)、会員企業は、石川県が金沢城公園で復元を進めている金沢城鼠多門の寄進事業に協賛し、このほど、復元工事に使用される門の「壁板」、「平瓦」を寄進した。寄進にご賛同いただいた皆様に改めて感謝を申し上げます。

なお、記名した面は裏側になるため、完成後は直接見ることはできませんが、「壁板」、「平瓦」の使用場所は専用システムで確認できる予定となっています。



平瓦(加賀建設業協会)



壁板(石川県建設業協会)

委員会の開催

土木委員会

役員会の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、9月3日（火）に役員会を石川県建設総合センター会議室において開催した。今回の会議は、6月に行った「地区協会との意見交換会」で意見要望が出された中から、早急に県土木部に対して改善を求める案件が生じたので、8月19日（月）に県土木部の鈴木 穰技監宛に要望書（4議題）を提出し、今回の役員会で鈴木技監を交えて意見交換会を行うこととなった。意見交換会では、要望事項等について技監から改善に向けた前向きな回答が提示された。これらの回答内容について質疑が行われ、特に「主任技術者・現場代理人の兼務」について活発な意見交換が行われた。

鈴木技監退席後、引き続き役員会を行い、各地区協会との意見交換会で発言があった意見要望等について確認を行った。また、令和元年度の活動結果（中間報告）及び9月から年度末に向けて計画されている各種行事の開催日程について、確認及び調整を行い散会した。

【今後計画されている主な行事の開催日程】

安全対策部会正副部会長会議

開催日：令和元年9月18日（水）

総務部会・懇話会合同会議

開催日：令和元年9月25日（水）

工事現地検討会班長会議（前期）

開催日：令和元年10月1日（火）

現場視察・研修会

開催日：令和元年10月30日（水）～31日（木）

親睦ゴルフコンペ

開催日：令和元年11月以降

舗装部会

開催日：令和元年11月以降

工事現地検討会

開催日：令和元年11月13日（水）

金沢河川国道事務所幹部と懇話会との意見交換会

開催日：令和元年11月中旬～下旬

役員会

開催日：令和元年11月29日（金）

石川県土木部との意見交換会

開催日：令和元年11月29日（金）

工事現地検討会班長会議（後期）

開催日：令和元年12月上旬～中旬

新年会

開催日：令和2年1月24日（金）

金沢河川国道事務所との意見交換会

開催日：令和2年2月上旬

役員会

開催日：令和2年3月下旬



会議状況



鈴木技監からの回答状況

安全対策部会 正副部会長会議の開催

土木委員会安全対策部会（部会長 林 登良夫）は、9月18日（水）に石川県建設総合センター会議室において、安全対策部会の正副部会長会議を開催した。今回の部会長会議は、11月に実施する「令和元年度工事現地検討会」に向けての対応すべき事項について、以下のとおり審議が行われた。



工事現地検討会の実施日及び対象工事について

- ・実施日を11月13日（水）、予備日を11月14日（木）とすることで「工事現地検討会班長会議（前期）」に提案し、各地区の班長から石川県各土木総合事務所と日程調整及び対象工事選定を行うこととした。

班長の推薦について

- ・各班（南加賀班、白山野々市班、県央班、中能登班、奥能登班）の班長を10名（各班2名）推薦した。

各班構成員選出について

- ・班長会議（前期）で、各班構成員を選出することとした。

工事現地検討会の実施要領について

- ・班長の役割、対象工事の選定方法、関係機関との調整など、工事現地検討会実施に向けての必要事項を了承した。

実施に向けてのスケジュールについて

- ・工事現地検討会の実施に向けて、対応すべきスケジュール内容を了承した。

班長会議（後期）の開催日程について

- ・12月上旬～中旬に開催することとした。

総務部会・懇話会合同会議の開催

土木委員会（委員長 竹腰勇ノ介）は、9月25日（水）に石川県建設総合センター会議室において、正副委員長と副部会長及び総務部委員、懇話会座長、懇話会副座長、懇話会委員を構成メンバーとした合同会議を開催した。



この会議では、11月に予定している石川県土木部との意見交換会の開催日程や議事内容と県土木部発注工事に関する課題抽出などについて審議し散会した。

主な議題及び審議内容は以下のとおりである。

【審議内容】

石川県土木部との意見交換会日程・議事等について

- ・開催日を11月29日（金）とし、会場をANAホリデイ・イン金沢スカイで実施することとした。
- ・話題提供として、石川県技監の鈴木 穰氏から「石川県土木部における最近の動向について（仮称）」のご講演をお願いすることとした。

「各地区協会との意見交換会」での意見・要望について

- ・6月11日（火）から26日（水）に実施した「各地区協会と県協会土木委員会との意見交換会」の場で発言された、県土木部発注工事等に関する意見要望について、入札契約関係や総合評価関係、設計積

算関係、施工関係、監督検査関係、改正品確法等の項目毎に課題抽出を行った。

「石川県土木部との意見交換会」の提案議題について

- ・今回抽出した課題から提案議題を作成し、次回の役員会（10月21日開催）で審議することとした。

現場視察・研修会（10月30日～31日開催）について

- ・現場視察箇所（兵庫県）及び社会科見学（大阪府）視察行程を確認した。

土地改良委員会

県農林水産部への要望事項提出

9月4日(水)午後1時30分から、当委員会の小柳 誠技術検討部会長、米田常務理事の2名で県農林水産部を訪れ、北出農業政策課技術管理室長に対し、技術検討部会（8月23日開催）で取りまとめた県農林水産部への要望事項を手渡すとともに、今後予定している意見交換会等の打合せを行った。

主な要望事項は次のとおり。

- ・ほ場整備工を中心に施工の実態等を考慮した設計積算等について
- ・入札契約のワンデーレスポンス対応等について
- ・その他



県央農林安全対策協議会現場安全パトロール並びに研修会の開催

県央農林安全対策協議会（会長 豊蔵享一）は、9月11日(水)に令和元年度現場安全パトロール及び研修会を開催した。

豊蔵会長を始め会員企業22社23名、行政から金沢労働基準監督署の山口伸哉安全衛生課長、県央農林総合事務所の梅田清彰所長を始め11名の職員、事務局（森林土木協会、建設業協会）2名の計36名が参加した。

現場安全パトロールは、令和元年度治山施設機能強化事業「寺津地区」溪間工事（施工者：辰巳建設(株)）で実施した。

溪間工事は、既設谷止工の嵩上で、下流県道等を守る工事であるが、現場では、県央農林総合事務所の現場監督員による工事概要の説明の後、請負業者の現場代理人から安全対策等の取り組みの説明があり、山口安全衛生課長からは、工事の安全管理について現場に応じた注意点等に関する指導が行われ、特に、現場のキャットウォークに係る安全対策について説明があった。

研修会は、豊蔵会長、梅田所長の挨拶で始まり、山口安全衛生課長は、「建設業における安全衛生対策の推進」と題した講演を行い、



現場安全パトロール



研修会

第13次労働災害防止計画（死傷者減少、熱中症災害減少、メンタルヘルス対策等）について過重労働対策や墜落防止の安全帯使用の際の留意点等について、画像で分かり易く説明された。

広報・研修委員会

委員会・講演会の開催

委員会の開催

広報・研修委員会（委員長 高田直人）は、9月19日（木）午後4時からホテル金沢において委員会を開催し、下記事項について審議・報告を行った。

1 協会報10月号について

事務局説明の編集計画が審議され承認された。

2 研修所からのお知らせ

建設業経営講習会を、10月11日（金）13時30分から、石川県建設総合センター7階大ホールにおいて開催することが報告された。

講演会の開催

委員会終了後、同所で講演会が開催され、講師としてお招きした神川博義（公財）国際研修協力機構富山駐在事務所長、高田 勝北陸ロードサービス事業協同組合代表理事の両氏から、「外国人技能労働者の受け入れ制度について」と題して講演を頂いた。神川所長からは、技能実習制度と在留資格「特定技能」の各々の特徴、技能実習生の受け入れから帰国までの流れ、実習実施者が整備しておくべき体制等について説明をいただき、高田代表理事からは、組合が認可団体として技能実習生の受け入れに関する業務を行っている立場から、建設分野における技能実習制度についての課題等について説明をいただき、委員一同、外国人技能実習生の受け入れに関し理解を深めることができた。



委員会



講演会

神川所長（中央） 高田代表理事（右）

建設青年委員会

金沢河川国道事務所との意見交換会の開催

建設青年委員会（委員長 北川隆明）は、9月3日（火）午後4時30分から、ANAクラウンプラザホテル金沢において委員25名出席のもと、金沢河川国道事務所との意見交換会を開催した。

金沢河川国道事務所からは山田事務所長、大角副所長、尾崎副所長、谷口工事品質管理官のご参加を頂いた。

北川委員長挨拶の後、「最近の国土交通省直轄事業の話題について」の演題で山田事務所長よりご講演を頂き、その後意見交換会を行った。

委員からは、担い手育成やICT活用工事に関する質問等があり、活発な意見交換が行われた。



暴力団等対策特別委員会

委員会の開催

暴力団等対策特別委員会は、9月24日(火)、石川県建設総合センター401会議室において委員会を開催した。

冒頭、橋本和雄副委員長(委員長代行)から、「業界に対する暴力団等の介入や不法行為は鎮静化の状況にあるが、彼らは姿かたちを巧みに隠し、関係者等を使って資金獲得活動を行っている。油断することなく体制を整えて一切の関係を遮断することが重要である。」と挨拶があり、続いて事務局より令和元年度の委員会の活動計画が示され承認された。続いて、来賓としてお招きした県警察本部組織犯罪対策課荒井博課長補佐から「暴力団情勢と対策について」、(公財)石川県暴力追放運動推進センター田中茂義次長から「反社会的勢力から会社を守るために」と題して講演をいただいた。その後、暴力団等に関する質疑応答・情報交換が行われ閉会した。



石川県土木施工管理技士会だより

JCM 特別セミナーの開催

石川県土木施工管理技士会(会長 江口介一)は、8月29日(木)に石川県建設総合センター第一研修室においてJCM 特別セミナーを開催した。

この講習会はグループ形式にて、今すぐできる建設業の工期短縮をテーマに、ハタコンサルタント株式会社代表取締役の降旗達生氏が講義を行った。講習を受講することにより、CPDSが7ユニット付与される。

今回は26名の参加があり、様々な課題をグループにて取組む中で積極的な意見交換が行われ、有意義な講習となった。



業界時報

令和元年度「建設業取引適正化推進月間」実施要領

建設業取引の適正化については、従来より建設業法の厳正な運用と不正行為の未然防止を図るとともに、建設業法令遵守ガイドラインの周知等を通じ、その推進を図ってきたところである。

しかしながら、依然として元請負人から下請負人への違法・不当なしわ寄せ等について指摘があることから、建設業取引の適正化をより一層推進し、元請負人と下請負人との対等な関係の構築及び公正かつ透明な取引の実現を図ることが必要である。

このため、毎年11月を「建設業取引適正化推進月間」(以下「月間」という。)とし、この期間に建設業取引の適正化に関する普及・啓発活動を集中的に行っているところであり、令和元年度については、下記により実施することとする。

記

1. 期 間 令和元年11月1日～30日
2. 主 催 国土交通省及び都道府県
3. 協 賛 公益財団法人建設業適正取引推進機構
4. 主な取組み

(1) 建設業取引の適正化に関する普及・啓発活動

月間は、建設企業等に対して建設業取引の適正化に関する普及・啓発活動を行う重要な機会であるため、次に掲げる方法等により、その実施について幅広く周知する。

地方整備局(北海道開発局及び沖縄総合事務所を含む。以下同じ。)、都道府県及び建設業関係団体への通知文発出

専門紙、雑誌、インターネット等を通じた広報

地方整備局、都道府県及び建設業関係団体のホームページ等を活用した広報

国土交通本省、地方整備局、都道府県及び建設業関係団体の施設におけるポスターの掲示

(2) 講習会

講習会の開催

建設業取引の適正化をより一層推進するため、建設企業等を対象として、建設業取引の適正化に関する講習会を、月間内を中心に開催する。

留意事項等

建設業取引の適正化を推進するため、建設業法、建設業法令遵守ガイドライン及び下請取引改善に向けた通知、建設業フォローアップ相談ダイヤル、駆け込みホットライン及び建設業取引適正化センター等の各種相談窓口等について周知する。

(3) 立入検査

月間内は、地方整備局又は都道府県が常時行う立入検査を重点的に実施するとともに、必要に応じ、地方整備局及び都道府県による合同での立入検査として実施する。なお、立入検査の結果、法令違反や不適切な行為が見受けられた場合は、必要に応じて指導・監督を行う。また、立入検査(合同立入検査を含む。)を実施する際は、各種相談窓口についての周知も併せて行うこととする。

(4) その他

上記のほか、地方整備局及び都道府県は、建設業取引の適正化の確保に向け、自主的な取組の実施に努める。

労働災害発生状況 ～建設業労働災害防止協会～

署別・業種別件数（令和元年分）

令和元年8月末 速報

業種別 署別	土木工事	建築工事	設備工事	計	前年同期	全産業
金沢監督署	7	(14)26	7	(14)40	(5)44	420
小松監督署	10	(4)7	2	(4)20	(4)16	119
七尾監督署	3	(5)10	4	(5)17	(5)17	77
六水監督署	5	(1)2	1	(1)8	(5)6	37
計	26	(24)45	14	(24)85	(19)83	653
前年同期	18	(19)41	24	(19)83		787

()内は木建工事 内は死亡者数

令和元年度 建設工事受注高調（元請）

民間

（単位100万円）

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
6月分	316	413	76.5%	2,211	2,980	74.2%	2,527	3,393	74.5%
7月分	224	240	93.3%	1,454	1,832	79.4%	1,678	2,072	81.0%
8月分	605	429	141.0%	2,428	1,850	131.2%	3,033	2,279	133.1%
年度累計	1,740	1,584	109.8%	8,621	11,686	73.8%	10,361	13,270	78.1%
29年度累計		2,583	67.4%		15,339	56.2%		17,922	57.8%
28年度累計		2,332	74.6%		9,610	89.7%		11,942	86.8%

官公庁

	土 木			建 築			計		
	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%	令和元年度	平成30年度	%
6月分	4,127	3,827	107.8%	6,621	1,694	390.9%	10,748	5,521	194.7%
7月分	5,016	5,147	97.5%	1,267	610	207.7%	6,283	5,757	109.1%
8月分	4,762	3,699	128.7%	656	1,299	50.5%	5,418	4,998	108.4%
年度累計	21,539	16,019	134.5%	9,486	4,295	220.9%	31,025	20,314	152.7%
29年度累計		13,305	161.9%		5,386	176.1%		18,691	166.0%
28年度累計		18,729	115.0%		8,494	111.7%		27,223	114.0%

合 計（民間 + 官公庁）

	令和元年度	平成30年度	%
6月分	13,275	8,914	148.9%
7月分	7,961	7,829	101.7%
8月分	8,451	7,277	116.1%

	令和元年度	平成30年度	%
年度累計	41,386	33,584	123.2%
29年度累計		36,613	113.0%
28年度累計		39,165	105.7%

会員消息

今回届け出があったのは次の2件でした。

変更

会社名	変更前	変更後	変更年月日
	代表者	代表者	
IMK(株)	福田 和俊	以西 善隆	令和元年8月15日
(株)丸西組	西 正次	西 功太郎	令和元年9月1日

なお、変更があった時点で届出頂くようお願い致します。

県協会からのお知らせ

令和元年10月行事予定

- 10月 1日(火) 東日本建設業保証(株)との懇談会 (金城楼)
土木委員会 安全部会班長会議
- 2日(水) けんせつフェア北陸in 富山2019
(富山 富山産業展示館(テクノホール))
建設技術報告会
(富山 富山産業展示館(テクノホール))
- 3日(木) けんせつフェア北陸in 富山2019
(富山 富山産業展示館(テクノホール))
建設技術報告会
(富山 富山産業展示館(テクノホール))
正副会長会議
常任理事会
三方良しの公共事業推進研究会新潟支部研修会
(新潟 新潟東映ホテル)
- 4日(金) 金沢協会50周年記念式典 (ホテル日航金沢)
内外情勢調査会石川支部 懇談会
(ANAクラウンプラザホテル金沢)
- 5日(土) ドローン講習 (金沢市七曲)
- 7日(月) ゴルフ大会 (片山津ゴルフ)
- 8日(火) 石川県産業安全衛生大会
(石川県地場産業振興センター)
- 9日(水) 建設業福祉共済団 説明会 (鳳輪建設業協会)
JCMセミナー
2級土木受験対策講習 (珠洲建設業協会)
令和元年暴力追放石川県民大会
(津幡町文化会館シグナス)
北陸地方建設事業推進協議会(2部会)
(北陸地方整備局)
- 10日(木) 女性職員による現場見学会 (金沢港クルーズ
ターミナル・金沢外環状道路海側幹線)
北陸地方建設事業推進協議会(2部会)
(北陸地方整備局)
2級土木受験対策講習 (珠洲建設業協会)
- 11日(金) 金沢協会 理事会
建設業福祉共済団 説明会 (金沢建設業協会)
建設業経営講習会
- 14日(月) はだしの王国 (奥卯辰山健民公園)
- 15日(火) 石川県景観審議会 (石川県内)
会報編集委員会 (2階 会長室)
建築委員会 研修会
(東京 東京国立美術館近代工芸館)
安全管理講習会 (石川県庁)
- 16日(水) 3級経理事務士特別研修(～18日)
(地階 第二研修室)
安全管理講習会 (奥能登行政センター)
石川県土木施工管理技士会(～17日) 研修会
(愛知県)
- IT講習 (河北郡市土建協同組合)
- 17日(木) 広報・研修委員会 企画部会

- 18日(金) 建築委員会 加賀地域合同建築委員会
(白山野々市建設業協会)
全国建設青年会議第25回全国大会 実行委員会
(富山県建設業協会)
- 21日(月) 土木委員会 役員会
- 23日(水) 北陸地域懇談会 (富山 ホテルグランテラス富山)
- 25日(金) 土地改良委員会 第2回技術検討部会
- 27日(日) 尾山神社遷座祭 (尾山神社金沢閣)
- 28日(月) 事務局打合せ
建築委員会 能登地域合同建築委員会
(羽咋郡市建設業協会)
登録解体工事講習
- 29日(火) 石川県建設生産システム合理化推進会議
(ホテル金沢)
- 30日(水) 地震・津波を想定した土木部防災訓練
土木委員会 研修会(～31日)(大阪府、兵庫県)
建築委員会 環境住宅部会研修
(愛知 名古屋城本丸御殿)
- 31日(木) 土地改良委員会 第2回役員会
建設業福祉共済団 説明会
(羽咋郡市建設業協会)

令和元年11月以降の行事予定

- 11月 5日(火) 東日本建設業保証(株) 参与会
(東京 パレスホテル東京)
- 6日(水) 全建 全国建設労働問題連絡協議会
(東京 浜離宮建設プラザ)
- 7日(木) 正副会長会議
国土交通省との意見交換会 (石川県庁)
県農林水産部との意見交換会
- 12日(火) 市町要望 (白山・野々市地区)
- 13日(水) 市町要望 (小松・能美地区)
- 14日(木) 市町要望 (河北・加賀地区)
青年委員会 講演会
法令遵守・キャリアアップシステム説明会
建退共 中部ブロック事務担当者会議(～15日)
(岐阜 ホテルグランヴェール岐阜)
- 15日(金) 羽咋工業高校意見交換会事前打合せ
(羽咋郡市協会)
- 地区協会合同研修会 (七尾市)
- 20日(水) 土地改良委員会 現場研修会 予備日27日
(白山頭首工)
- 全建 全国会長会議 (東京 経団連会館)
- 21日(木) 農政局長及び局事業所長への施策提案
(農政局及び局事業所)
- 全建 技術研究発表会 (東京 鉄鋼会館)
- 25日(月) 保証事業石川協議会定例会 (KKR ホテル金沢)
- 26日(火) 市町要望(～27日) (能登地区)
石川県土木施工管理技士会役員会
(ホテル日航金沢)
県農林水産部長及び事務所長への施策提案
(県庁及び農林事務所)

- 11月29日(金) 土木委員会役員会・全体会議(県土木部との意見交換会)(ANAホリデイ・イン金沢スカイ)
 - 12月 3日(火) 正副会長会議
 - 4日(水) 石川県景観審議会
 - 5日(木) 建設業振興基金 研修会
(東京 建設業振興基金)
 - 12日(木) 全国技士会連合会事務局長及び実務担当者会議
(東京 アルカディア市ヶ谷)
 - 13日(金) 羽咋工業高校生との意見交換会(羽咋工業高校)
 - 23日(月) 協会・組合 理事会(金沢ニューグランドホテル)
知事懇談会 (金沢ニューグランドホテル)
- 令和2年
- 1月21日(火) 協会・組合合同新年会 (ホテル日航金沢)
 - 24日(金) 土木委員会新年会 (和倉温泉)
 - 2月 7日(金) 北陸地方整備局との意見交換会(ホテル日航金沢)
 - 25日(火) 建設業税財務講習会
 - 27日(木) 北陸地方整備局と北陸3県土木施工管理技士会との意見交換(新潟 アートホテル新潟駅前)

「協会報」への随筆等投稿(お願い)

随筆文字数 400字詰め原稿用紙3枚(1,200字以上)
 投稿の期日 毎月25日頃(翌月号の編集締切り)
 協会報の発行 毎月1日発行
 (毎月10日前後納入、会員送付)
 謝礼 投稿頂いた記事について薄謝贈呈

(注)お問い合わせは、
 (一社)石川県建設業協会事務局広報担当
 TEL 076-242-1161(代)内線40番

地区協会からのお知らせ

(一社)金沢建設業協会

《行事予定》

- 10月 1日(火) 青年:技術防災セクション
- 3日(木) 協会創立50周年記念式典
- 7日(月) 建築:市幹部職員との意見交換会
- 8日(火) テレビ講座
- 10日(木) 金沢マラソンボランティア説明会
- 11日(金) 理事会
役員:視察研修説明会
- 15日(火) 土木:環境・情報委員会 安全パトロール
- 16日(水) 女性活躍推進準備部会
土木:県央土木総合事務所との意見交換会
- 17日(木) 青年:情報発信セクション
- 18日(金) 土木:施工管理委員会 安全パトロール
- 23日(水) 土木:舗装委員会 安全パトロール
青年:幹事会
- 24日(木) 土木:安全対策委員会 安全パトロール
- 27日(日) 金沢マラソンボランティア
- 29日(火) 現場責任者研修会

(一社)加賀建設業協会

《行事予定》

- 10月16日(水) 加賀市建設部との安全パトロール及び意見交換会
- 23日(水) 建防災加賀分会 安全パトロール
- 29日(火) フルハーネス型安全帯特別教育講習

《お知らせ》

- 10月12日(土) 山中温泉こおろぎ橋 完成式
- 20日(日) エコフェスタinかが

(一社)小松能美建設業協会

《行事予定》

- 10月12日(土) 小松どんどんまつり あんどん行列参加
- 18日(金) 加賀地区合同建築委員会
- 29日(火) 建青会役員会

(一社)白山野々市建設業協会

《行事予定》

- 10月18日(金) 加賀地区合同建築委員会
- 19日(土) セブ用水イベント協力(ボランティア)
- 25日(金) 白山市議会と意見交換会

河北郡市土建協同組合

《行事予定》

- 10月16日(水) 令和元年度「CPDS講習会」(~17日)
- 18日(金) 第2回監理技術者テレビ講習会

(一社)羽咋都市建設業協会

《行事予定》

- 10月 1日(火) 10日(木) 29日(火)
管内生コン工場の品質管理監査
- 6日(日) 建設機械試乗会
羽咋市「はくい福祉まつり」と合わせて開催
- 10日(木) 第16回「小学生の見た建設の絵」入賞作品の審査会
中旬~11月下旬
管内5箇所建設の絵入賞作品の展示会開催
- 31日(木) 役員会

《お知らせ》

- 11月 6日(水) 農林工事安全パトロール
- 8日(金) こども除雪車ふれあい教室(羽咋土木)
除雪機械試乗会開催

(一社)七尾鹿島建設業協会

《行事予定》

- 10月18日(金) 土木委員会研修視察(~19日)

《お知らせ》

- 12月 4日(水) 監理技術者講習会

(一社)鳳輪建設業協会

《行事予定》

- 10月 1日(火) 能登産業技術専門校後期入校式
- 6日(日) 奥能登土木委員会研修旅行(~8日)
- 7日(月) 県協会懇親ゴルフコンペ
- 9日(水) 正副会長会議、理事会
- 28日(月) 能登地域合同建築委員会

《お知らせ》

- 11月 5日(火) 監理技術者講習会

(一社)珠洲建設業協会

《行事予定》

- 10月 1日(火) 石川県立能登産業技術専門校入校式
- 6日(日) 奥能登土木委員会(~8日)
視察研修旅行
- 9日(水) 2級土木施工管理技術検定試験 受験準備講座
(~10日)
- 15日(火) 飯田高校生との工事現場見学会
- 25日(金) 理事会

関係機関からのお知らせ

令和元年 10月・11月・12月 個別専門相談室開設のご案内

本会では、組合・企業等が抱えている法律や税務、登記等の諸問題を解決すべく、専門家による個別専門相談室を開設しております。

10月～12月については、以下のとおり相談室を開設いたしますので、該当するテーマをお選びいただき、お気軽にご相談ください。

※相談は予約制(1回30分)のため、ご希望の方は事前に本会へ電話でお申込みください。また、予約多数の場合は、相談時間の短縮をお願いする場合がありますので予めご了承ください。

*申込先 (TEL) 076-267-7711
(FAX) 076-267-7720

＝日 程＝

開催日	時間	内容	専門相談員
令和元年 10月18日(金)	10:00～12:00	税務・会計相談	北村労務会計事務所 税理士 荒谷幸祐氏
11月21日(木)	13:00～15:00	法律相談	弁護士法人 まこと共同法律事務所 弁護士 久保雅史氏
	15:00～17:00	労務相談 (働き方改革)	【10月】 ひがし社会保険労務士事務所 東 謙一氏 【11月】 聖川社会保険労務士事務所 聖川 泰史氏 【12月】 ヒュースター労務サポート事務所 山下 大揮氏
12月18日(水)			

＝開催場所＝

金沢市鞍月2丁目20番地

石川県地場産業振興センター新館5階 石川県中小企業団体中央会 会議室

※令和2年1月以降の開催につきましては日程が決まり次第ご案内します。